平成20年度事業報告書

１．リハビリテーションの振興・調査研究

（69,702千円）

障害者の自立、社会参加、QOL(生活の質)の図るため、障害者の保健福祉に関わる研究等を次のとおり実施した。

① 調査研究事業の推進
② 日本障害フォーラム(JDF)への参加と協力
③ 障害者放送協議会への参加と協力

２．国際協力・交流

（122,339千円）

平成18年に国連で採決された「障害者の権利条約」は、一昨年9月に外務大臣が署名を終えた。また、第二次「アジア太平洋障害者の十年」(2003-2012)は中間年を迎えたが、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)は、昨年9月のハイレベル政府間会合で、「びわこミレニアム・フレームワーク」の補足文書である「びわこプラスファイブ」を採択した。このため、RI(国際リハビリテーション協会）、APDF(アジア太平洋障害フォーラム)、JDF(日本障害フォーラム)との連携を密にし、国際協力・交流を積極的に促進するほか、次の事業を実施した。

① 第二次「アジア太平洋障害者の十年」関係事業
② RI(Rehabilitation International = 国際リハビリテーション協会)への参加
③ 国際協力・交流プロジェクト
④ 国際研修事業

３．情報収集・提供

（153,206千円）

障害者の自立と社会参加、QOL 向上を図る上で必要不可欠な情報入手・コミュニケーション推進に資するため、次の事業を実施した。

① 障害者の情報活用推進事業
② DAISYの開発普及
③ 出版等